

学校 教育 目標	大門大好き いい仲間 進んで学ぼう 元気な子 ○自ら問題を見つけ、進んで解決しようとする子を育てます(知) ○自分も友達も大好きな、やさしい心をもつ子を育てます(徳) ○心と体を鍛え、自分や人の命を大切にすることを育てます(体) ○大門のまちを愛し、学校やまちのために協力して働く子を育てます(公) ○多様性を尊重し、持続可能な社会の実現に向けて行動する子を育てます(開)					
	創立 46 周年 児童生徒数: 658 人	学校長 佐藤 峰子 主な関係校: 瀬谷中学校 瀬谷小学校 上瀬谷小学校	副校長 佐々木 一高 2 学期制	一般学級: 19 個別支援学級: 5		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自分自身を高めていく力	瀬谷中学校 瀬谷小学校 上瀬谷小学校 大門小学校	人との関わりの中で、多様性を認め合い、自らを高められる 児童・生徒 ・瀬谷中ブロックの子ども像実現に向けた小中一貫カリキュラムの作成 ・推進委員会の開催のもと、各部会の組織的な運営と連携 ・学校運営協議会を設置し、地域とともに児童生徒を育てていく体制づくり

中期 取組 目標	○子どもが生き生きと豊かに学ぶ、開かれた学校を創ります。 ・「楽しい」「分かる」「できる」を体感する授業づくりを進め、子どもが学び合いながら自らの学力を向上させていくようにします。 ・一人ひとりが自己有用感をもち、折り合いながら、協働して学校生活をつくるようにします。 ・健康な心身をつくるための生活習慣の形成や仲間づくりを進めます。 ・地域の人・もの・ことを活かした活動を通して、未来に目を向けられるようにします。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①一人ひとりが自分の思いや考えをもち、学び合う授業づくりの研究を推進する。②4.5.6学年の一部教科分担制によって児童を多面的に見取り、授業の質の向上と児童の資質・能力の育成を図る。 ③3.4学年の算数少人数による個に応じた指導を図る。④市学力学習状況調査の分析と学年の実態に応じた授業改善を図る。⑤学年の系統立てが図られた自主学習を推奨する。
豊かな心	①子どもの実態、各教科等との関連を大切に道徳科の指導を行う。②人権教育、福祉交流、運動会、宿泊体験学習、ペア学年活動、あいさつ運動、大門フェスティバルなどの行事・学習を通して、人と関わることを大切にして、多様性を認め、他者の思いを想像する力の育成を図りながら、自己有用感も高める。
健やかな体	①いきいきキッズの活用など、休み時間の活動を充実させ、体力向上に努める。②家庭と連携して、ノーゲーム、ノーTVデーなどに取り組む「元気がぴかぴか週間(活動)」を月1回実施する。③給食後の歯磨きタイムを設定し、歯磨きの励行をする。④学校栄養職員、養護教諭と連携した健康・保健の授業を進める。
特別支援教育・児童理解	①個の学びに寄り添った支援、安心して登校できる環境づくりによって、児童の自己肯定感を高める。 ②一般級と個別級の校内での連携を強化するとともに、専門機関との連携をすることによって個のニーズに応じた支援を行う。③大門小学校スタンダードを使い、同じ方向性の指導を行うことで、落ちついた学校風土づくりに取り組む。
安全教育・管理	①本番を想定した、災害避難・防犯マニュアルの見直しをする。②瀬谷中学校と連携し、小中合同引き渡し訓練、水害避難訓練など、非常時に対応する各種避難訓練を行う。③安全、安心の学校づくりのために、年度初めの職員安全研修、休み時間の校内巡視を行う。④子ども自身が考える防災教育を行い、自分の身を自分で守るという意識を高める。
未来を開く志・地域連携	①地域の人と関わりながら課題解決に向けて行動できる子を育成する総合的な学習の時間の取組を進める。②持続可能な社会を築く一員としての視点(SDGs)を取り入れた学習活動や農園活動(ESD推進)を進める。③地域の人々の学校ボランティア導入や凧あげ大会・大門まつり・ハマロードサポート・ふれあい音楽会・非行防止サミット等の地域との共同行事への積極的な参加を進める。
いじめへの対応	①Y-Pアセスメントやいじめアンケート、日常の児童との対話を大切にしながら、児童の思いを把握し、いじめの未然防止・初期対応に取り組む。②いじめ防止対策委員会や職員研修、学年研で情報を共有し、学校組織としていじめを抑止する。
人材育成・組織運営(働き方改革)	①キャリアステージに応じた研修を実施し、教職員としての資質を高める。②各分掌内での連携を密に図ることで職務内容を共有化し、次年度以降に着実に引き継ぎながら、職務内容の改善に取り組む。③教育活動の見直しと精選を進めるとともに、校務支援ソフトや職員室内掲示板の活用、業務終了電話設定の見直しにより、勤務時間をより有効に活用できる環境を整える。